



久保田由夫 ほっと通信



NO. 97
2020. 2月号
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください>



<季節の写真>

千曲川に飛来しているコハクチョウ
場所は、依田川と千曲川の合流地点。
早朝でしたが、すでに3人の方がカメラ
を構えていました。

◆1月25日、上小民主団体合同旗開きで田村智子参議院議員(小諸市出身・日本共産党副委員長)が「桜を見る会の真相」と題して講演した。(下段をご覧ください)「桜を見る会」の国会での論戦を通じて政治家と官僚と政府の劣化がひどいことがわかった。安倍政権は末期症状である。おそらく、政権が交代したときには、安倍政治の不都合な真実が国民の前に明らかにされるだろう。◆1月は、講座や講演会にたくさん参加させてもらった。「令和元年台風第19号に伴う被害状況及び災害対応について」(長瀬地区会議)、「施設で暮らす子どもたちの現状」(人権セミナー)、「2020年東京大会成功の鍵を探す」(東信5市議会議員研修会)、「若手職員の育て方、成長のさせ方」(上田市商工会新春経済講演会)、「人口減少でも豊かさを確保できる都市をつくるには?」(持続可能な上田市を考える会)、「環境にやさしい農業と福祉の連携」(上田地域市町村議員研修会)「命の授業」(JA信州うえだ)などである。◆上田市議会観光産業振興議員連盟は、上田市に来て活躍されている地域おこし企業人の派遣元である(株)東急エージェンシー(東京都・港区)で、静岡県下田市や上田市の観光戦略などについて研修した。いずれも大事な課題であり、最前線で活躍されている方の話は感銘を受けました。(くぼた よしお)

「民主主義が音をたてて壊れていることを日々実感」「安倍政治に終止符を」 田村智子参議院議員

本来なら、災害復旧や消費税が暮らしにどんな悪影響を与えているか、みんなが笑顔で暮らせる社会をどのようにして作っていくか、明るい未来を切り開いていくかをお話したいのですが、それを妨害しているのが、安倍総理自身である。そもそも「桜を見る会」はどんな問題なのかを三つに分けて話したい。

◆安倍総理の法律違反の疑いがある

～財政法違反の疑い～

「桜を見る会」は公費で運営されている。公費を出すには目的がある。目的外に使われているのであれば、財政法に違反するのではないかと疑う。

～政治資金規正法に抵触している～

ホテルで行われた前夜祭は、安倍晋三後援会主催であるのにその記載がない。招待状より実際は2000人ぐらい多くなっている。急に増えているのは、1回目は2016年、2018年の2回である。2016年は参議院選挙があり、野党が1人区では統一候補でたつた年でもある。選挙に強いとされる安倍首相側が参議院の改選議員と非改選議員では招待状の数がちがった。

2018年はどうか。この年は、自民党の総裁選挙があった年。この前の総裁選挙では、石破候補には地方議員票では負けている。そのため、桜を見る会の前日には、都道府県の議員会議をセッティングして、希望者は桜を見る会に参加できるようにした。地方議員票の獲得のための対策ではなかったか。安倍首相以外の大臣は辞任に追い込まれている!

これまでの大臣は、「選挙でないときに自分の名前の入った団扇(うちわ)を渡した」ことが問題となり辞任。「自身の写真と名前の入ったワインを配った方も辞めた。」「選挙区内で線香を配ったのが問題となり辞めた大臣もいた」「高価なメロンを配って辞めた大臣も」これは、大臣としてふさわしくない行為、公平性を欠くものとして、大臣を辞任してきた例である。

安倍総理は、自らの選挙区から大勢の方を招待して、おもてなししている。総理でいることを最大限利用しているもので、公職選挙法に抵触し、

選挙の公平性をゆがめている。

厳密には、公選法により立件するにはハードルが高いが、これまでの事例に照らせば総理を続けていることには無理がある。厚顔無恥としか言えない。

◆ジャパライフという詐欺師が

桜を見る会に参加したことで被害者が拡大した!

各省庁に名簿の提出を求めた際に、内閣府は止めに入ったが、田村智子事務所には防衛庁、国土交通省が名簿を届けてくれた。その時に、招待状に番号が明記されていたことがきっかけで、ジャパライフの招待状にあった「60」の意味は何かを調査した。結果、「60」は総理枠だということが数々の証拠からわかってきた。総理の招待者中に稀代の詐欺師が紛れ込んでいたことが重大問題であり、被害を拡大した。

◆民主主義に関わる問題

「招待名簿をシュレッダーにかけて、電子データも消去した」などという説明を信じている人はだれもいない。この間の国会審議を通じて、民主主義が音をたてて壊れていることを日々実感している。

公文書を廃棄した場合は、廃棄簿に記録しなければならないがこれがない。つじつまが合わないので、担当職員を処分した。電子データについても、消去したとするコンピューター上の記録を出すように要求しても「消去した職員が言っているから、調査はしない」その理由を尋ねると「理由は言えない」としている。ここまでして安倍総理をかばっているのが今の政府。まさに、民主主義が壊されている。

◆このままでは、日本が壊れてしまう!

安倍首相の野望は「憲法を変えたと首相として歴史に名を残すこと」。居座り続けている安倍政治に終止符を打ちましょう!

